

はじめに



石川県知事 谷本 正憲

近年、三位一体の改革の議論に象徴されるように、自主・自立の地域社会を目指す地方分権が理念から実行の段階に入りつつある一方で、企業などがむしろ国内外を含め地域を選ぶ時代となるなど、最近の地方を巡る状況は劇的に変化しております。また、本県が平成7年に策定した「産業高度化10ヵ年戦略」も策定以降、約10年近く経過し、当時と比べ経済環境も大きく変化してきています。

このような状況の中で、今こそ地域経済を活性化し、地域間競争の時代を勝ち抜く力強い戦略が不可欠であるとの認識のもと、本県の産業振興の新たな指針として、「石川県産業革新戦略」を策定することといたしました。

申すまでもなく、経済活動においては企業が主役であり、本県経済を活性化するには、企業の方々にどんどんチャレンジしていただかなければならないと考えております。このため、今回の戦略では、企業が生き生きと活動できるような環境づくりを目指し、策定プロセスを重視して作業を行ってまいりました。具体的には、現場に出向いて、企業の方々に意見を聞き、問題意識を共有するように心がけるとともに、個別ヒアリング、少人数の作業部会、県内各地域でタウンミーティングを実施するなど、徹底した現場主義に努めました。

そうした策定プロセスを経て、県自身の役割を明確にし、県の行うべき具体的行動と目標及び評価システムをとりまとめた、いわば県の「コミットメント」が、この「石川県産業革新戦略」であります。

最後に、本戦略の策定にあたりまして、貴重なご意見・ご提言を賜りました産業革新戦略会議の慶伊富長座長をはじめ、委員各位に心から感謝申し上げますとともに、本戦略の実現に向け関係の皆様方の積極的な取り組みが推進されますようお願い申し上げます。

平成17年3月